



万田坑を知ろう!



▲プー助。あらお感動物語「荒尾炭鉱物語」の主人公。物語は市ホームページからご覧いただけます

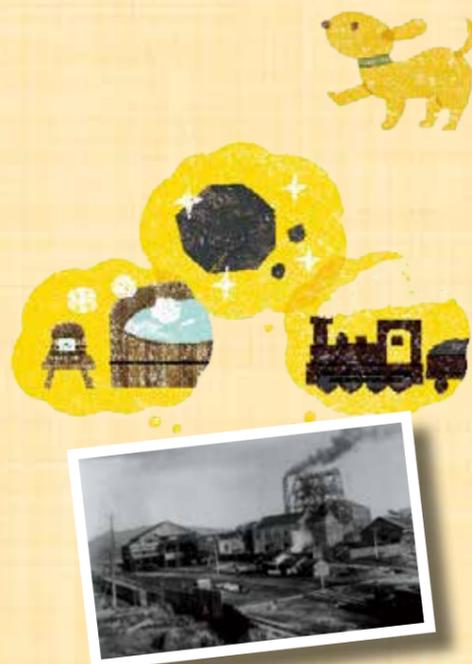
万田坑を知っていますか

110年ほど前に開かれた万田坑は明治から大正時代にかけて、日本の近代化を鉄鋼・造船とともに石炭産業で支えました。このことが評価され、万田坑は「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産の一つとなっています。

いよいよことし6～7月頃に開かれるユネスコ世界遺産委員会で世界遺産に登録されるかどうかが決まります。そこで、万田坑の歴史、価値や現在行われている取り組みについて、2回にわたり「炭鉱の街に住む犬 プー助」が皆さんにお伝えします。改めて万田坑のことを考えてみましょう。

プー助が答える 炭鉱Q&A

- Q. 石炭って何?
- A. 石炭は植物や樹木が長い間土に埋もれて、真っ黒な石のようになったものなんだ。主な樹木はメタセコイア(杉の一種)だと考えられていて、今でも荒尾や大牟田にたくさん植えられているんだよ。
- Q. 石炭で何ができるの?
- A. 石炭を燃やしたときに出る熱や蒸気で機械を動かせるんだ。明治時代から昭和にかけて、石炭はエネルギーのもととして、とても重要だったんだ。価値が高くて黒いことから「黒ダイヤ」とも呼ばれていたんだよ。
- Q. 石炭を掘らなくなってからも、どうして万田坑は平成9年まで閉鎖されなかったの?
- A. 石炭を掘らなくなった昭和26年以降も、地下坑内水の排水などの役割を果たしていたから閉鎖されなかったんだよ。



▲1907年の万田坑第一堅坑

⇒万田坑のあゆみ⇒

- 明治30(1897)年 第一堅坑開削
- 明治31(1898)年 万田・宮原間専用鉄道開通
- 明治35(1902)年 第二堅坑開削
- 明治41(1908)年 第一堅坑出炭
- 明治42(1909)年 第二堅坑出炭
- 明治42(1909)年 坑内電車を使用
- 昭和8(1933)年 荒尾市と大牟田市間の地下道開通
- 昭和29(1954)年 万田・三池港間専用鉄道運炭開始
- 昭和29(1954)年 第一堅坑解体・北海道へ移設
- 昭和29(1954)年 採炭中止
- 昭和26(1951)年 荒尾市と大牟田市間の地下道開通
- 平成9(1997)年 三池炭鉱閉山(第二堅坑坑口閉鎖)
- 平成10(1998)年 第一堅坑遺構・北海道へ移設
- 平成12(2000)年 国重要文化財に指定
- 平成21(2009)年 国史跡に指定
- 平成22(2010)年 ユネスコ世界遺産暫定一覧に記載
- 平成25(2015)年 一般公開開始
- 平成26(2014)年 ユネスコへ推薦書提出
- 平成26(2014)年 ユネスコ世界遺産登録政府推薦

万田坑へ行ってみよう

万田坑が世界遺産に登録されれば、たくさんのお客さんが訪れると予想されます。その前に、ぜひ一度、万田坑を見学してみませんか。万田坑に併設されている万田坑ステーションには昭和14年当時の施設配置を再現した精巧な模型、坑内での写真や炭鉱マンの作業服などを展示しています。その他、万田坑の定時ガイドを行っています(午前10時～、11時～、正午～、午後1時～、2時～、3時～)。ガイド時間外は無料の音声ガイドペンをご活用ください。

4月29日(水・祝)
5月5日(火・祝)
万田坑無料開放日!



※詳しくは31ページをご覧ください。

黒くておいしいスイーツ

石炭クッキー、レーズンサンド、マーブルケーキやチョコレート菓子など石炭をイメージした黒いスイーツを万田坑ステーションで販売しています。ぜひご賞味ください。



万田坑ステーション(原万田 200-2) ☎ 57-9155

- 見学時間 午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜(祝日の場合は翌日)
- 入場料 大人410円、高校生300円、小中学生200円

PICK UP

修学旅行生来たる



2月初め、沖縄県の中学生200人ほどが修学旅行で万田坑を訪れました。事前に荒尾市や万田坑のことを学習して臨んだ生徒たちは熱心に見学していました。

世界遺産登録

カウントダウンイベント募集

地域や市民団体などが行うイベントで市職員が世界遺産登録応援PRを行い、イベントを盛り上げます。詳しくはお問い合わせください。
秘書広報課広報広聴係 ☎ 63-1157

⇒荒尾と世の中の動き⇒

- 明治27(1894)年 日清戦争始まる
- 明治31(1898)年 孫文、宮崎家に一週間亡命
- 明治37(1904)年 日露戦争始まる
- 明治41(1908)年 八幡地区などで梨の栽培が盛んに
- 大正2(1913)年 万田駅(現荒尾駅)営業開始
- 大正8(1919)年 国費として孫文が宮崎家を訪問
- 昭和6(1931)年 荒尾村が荒尾町となる
- 昭和16(1941)年 満州事変
- 昭和17(1942)年 太平洋戦争始まる
- 昭和20(1945)年 市制施行。荒尾市となる
- 昭和23(2011)年 東日本大震災
- 昭和23(2011)年 阪神大震災
- 昭和48(1973)年 オイルショック
- 昭和48(1973)年 終戦
- 昭和20(1945)年 (荒尾一町四力村が合併)